

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

三ツ目通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」と歩いてきました。

今回は「三ツ目通り」を歩きます。三ツ目通りは江東区湾岸道路の辰巳交差点を起点に、墨田区向島の言問橋東交差点（水戸街道と合流）に至る延長約 8 kmの道です。写真右上は三ツ目通りの道路名標識（都道 319 号線）です。

三ツ目通りの名は豎川にかかった隅田川から数えて三つ目の三之橋（別名三ツ目橋）に由来します。三ツ目通りは、隅田川につながる川や運河にかかる多くの橋を渡り、沿道の多くの公園を通過して都心へ向かいます。

掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[辰巳交差点] 江東区辰巳二丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 辰巳駅

三ツ目通りは湾岸道路（国道 357 号線）辰巳交差点（写真下右）が起点となり北上します。左へ行くと有明方面、右へ行くと夢の島・新木場方面です。高速道路湾岸線、深川線が交差する辰巳ジャンクションで、交差点の先（写真下右の右側）は東京湾です。



[辰巳の森緑道公園] 江東区辰巳一丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 辰巳駅

三ツ目通りの両側は1975年(昭和50年)12月1日開園の「辰巳の森緑道公園」です(東京都湾岸局が管理)。写真下左は左側の公園です。三ツ目通りの脇も歩けますが、車の音を避けたい方は脇にある散歩道(写真下右)が歩けます。



[辰巳の森海浜公園] 江東区辰巳二丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 辰巳駅

三ツ目通り右側の日本赤十字辰巳ビルの先が「辰巳の森海浜公園」です。スポーツ施設でニュースポーツ・遊具・ドッグランなどで楽しめます。園内には2020東京オリンピック・パラリンピックの水泳競技が行われた「東京アクアティクスセンター」(写真下右)があります。上は高速道路深川線です(写真下左)。



[七枝橋] 江東区辰巳一丁目 最寄駅 JR京葉線 潮見駅

三ツ目通りにある橋と運河めぐりの始まりです。写真下は東雲東運河に架かる「七枝橋」(写真下左)です。「七枝」とは1910年(明治43年)の枝川改修計画で、辰巳は「枝川七号埋め立て」と表示されていてその名残だそうです。写真下右は七枝橋から見た左側(豊洲方面)を見たものです。



[八枝橋] 江東区潮見一丁目 最寄駅 JR京葉線 潮見駅

東雲北運河にかかる「八枝橋」(写真下左)です。写真下右は八枝橋から振り返って見たもので、左側は「潮見運動公園」です。橋からの写真は進行方向左側が主になります。終点に向かう道路案内経路標識は左上にあるので左側を歩いていますので、右側に撮影したい場所があれば三ツ目通りを横断します。交通量が多いので横断は歩道橋がありました。



[汐枝橋手前の交差点] 江東区枝川三丁目

最寄駅 JR京葉線 潮見駅

汐浜橋手前の交差点（写真下右）で都道 319 号線は左へ分岐します。左へ行くと豊洲・有明方面、右へ行くと新砂・新木場方面です。本線の都道 319 号線は直進します。



[汐枝橋] 江東区枝川二丁目

最寄駅 JR京葉線 潮見駅



汐見運河にかかる「汐枝橋」(写真上左)です。写真上右は汐枝橋左側の塩浜・豊洲方面です。

[汐浜橋] 江東区塩浜二丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

汐浜運河にかかる「汐浜橋」(写真下左)です。写真下右は橋左側の越中島方面です。



[平木橋] 江東区木場一丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

大横川にかかる「平木橋」(写真下左)です。木場らしく橋の名の柱は木風でした。橋の左側は太い水道管が通り、川が見えないので脇(写真下右)から覗きました。



[木場五丁目交差点] 江東区木場五丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

木場五丁目交差点（写真下右）で永代通り（都道 10 号線）と交差します。左へ行くと永代橋方面、右へ行くと葛西方面です。



[木場公園] 江東区木場五丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

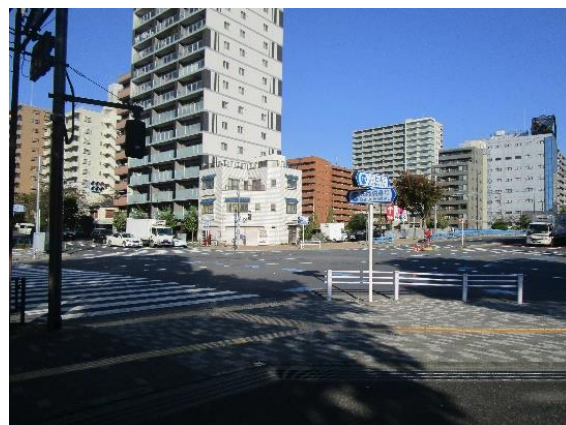
木場五丁目交差点で右側に渡り、右側にある「木場公園」（写真下左）に入ります。「木場」の地名は材木業関連の倉庫や材木場が多かったことに由来します。「木場公園」は貯木場・木材関連企業が「新木場」に移転した跡地に、1992年（平成4年）6月1日に開園しました。木場公園は仙台堀川をはさみ、「木場公園大橋」（写真下右）で南北につながる都立総合公園で、災害時の避難広場にも位置づけられています。寅さん歩 148 江戸・東京の祭—52 江戸らしい祭—23 木場の角乗をご覧ください。



[都立木場公園前交差点] 江東区木場四丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

写真下右は木場公園から出た所にある都立木場公園前交差点です。

清洲橋通り（都道 474 号線）と交差します。左へ行くと清洲橋方面、右へ行くと東砂方面です。



[末広橋] 江東区平野三丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

交差点の先にある「末広橋」（写真下左）は仙台堀川にかかる橋です。写真下右は末広橋から見たもので、左側が深川方面です。地名の「平野」は名主 平野甚四郎長久の姓をとって平野町としたのが始まりとこのことで「平野寅次郎」とは縁もゆかりもありません。



写真下左は末広橋から見たもので、右側の仙台堀川と木場公園南北を繋ぐ「木場公園大橋」です。その先の公園内には「東京現代美術館」（写真下右）があります。1995年（平成7年）3月開館、2019年（平成31年）3月リニューアルされました。



今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里(約2400km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)を出発、2023年4月25日金沢から19kmの地点(江戸深川から1752km)に到着しました。

この後は小松へ向かって進みます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝

